

街角の童話

めるへん

構成・演出 麻創けい子

第2章

何げない日々、三つの小さな奇跡が明日を変える

三人のライターによる書き下ろし

1

「ロイヤルブルーの風」

脚本・吉崎 椰

今渡可南子は二十五歳。大学を卒業後、出版社に就職したと両親にウソをつけて上京。本屋でアルバイトをはじめて三年になる。そんな彼女を、デザイナー事務所で働く高校時代の同級生、亜由美の輝きが、ますますみじめにさせる。自分は何がしたくて東京に来たのだろう。ただ、都会に憧れただけだったのか。

自問自答を繰り返していたある日、街角の画廊の壁に描かれた不思議な絵に目を止める。

2

「北海道へ」

脚本・加藤 紀子

杉田千穂は六十歳。娘も息子も独立し、夫婦二人の老後を考え始めた矢先、夫が意識を失い救急搬送される。夫に付き添う彼女の頭を過ぎったのは、「北海道」だった。

北海道は千穂の憧れの地。一度は訪れたいと夫に言い続けてきたが実現はしなかった。それどころか、千穂が「北海道」と口にするたびに不機嫌な顔をするのだ。ベッドに横たわる夫の耳元で千穂は囁く、「北海道」・・・と。

休憩

3

「美しい名前」

脚本・北野 和恵

榎本サキは女優。といっても、知る人はほとんどいない。登場すればたちまち殺されてしまう売れない女優である。雨に降られて帰る道すがら、ショーウィンドーに映るみじめな自分を見た彼女は、気分を変えようと美容院へ。すると、彼女を見た女店主は言う、「榎本サキにそっくり」と。どうやらこの店には、サキと名乗る女がやってくるらしい。目の前の鏡を見つめながら、店主の語るもう一人の榎本サキの女優人生に耳を傾ける。

出演

石黒 寛
益川 京子
光本 基江
川瀬 邦成
中川 理紗

日時

2017年6月16日(金) 14:00
18:30

17日(土) 14:00

18日(日) 14:00 上演時間は約2時間、会場は30分前です。

会場 損保ジャパン日本興亜人形劇場 ひまわりホール

料金 前売2500円/当日3000円

